

## 行田市成年後見センターを新設します

平成28年5月に「成年後見制度の利用の促進に関する法律」が施行され、各市町村は成年後見制度の利用の促進に関する政策について基本的な計画を定め、中核となる機関の設立など必要な体制の構築に努めることが求められることになりました。これを受け、本市では8月1日から行田市社会福祉協議会内に中核機関として「行田市成年後見センター」を設置します。

認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が不十分になった方が、安心して生活できるよう、権利擁護の支援および成年後見制度の利用相談の窓口として、ぜひご利用ください。

- ▶開設日 8月1日(金)
- ▶開設場所 行田市社会福祉協議会内(酒巻1737-1)
- ▶電話番号 557-5400
- ▶相談時間 月～金曜日の午前8時30分～午後5時15分(年末年始・祝休日を除く)
- ▶その他 センターの運営は、行田市社会福祉協議会に委託します。

### 成年後見制度とは

認知症、知的障害、精神障害などの理由で、一人で決めることが心配な方々は、財産管理(不動産や預貯金などの管理、遺産分割協議などの相続手続など)や身上保護(介護・福祉サービスの利用契約や施設入所・入院の契約締結、履行状況の確認など)などの法律行為を一人で行うことが難しい場合があります。

成年後見制度は、こうした方々を法的に保護する目的で、援助者(成年後見人・保佐人・補助人)を家庭裁判所に選任してもらい、本人を法的に支援する制度です。

- ▶問い合わせ 高齢者福祉課地域包括ケア担当(内線290)

## 優良運転者を表彰します

行田警察署および行田交通安全協会では、優良運転者の表彰を行います。これは同協会会員が長年にわたり安全運転に努め、交通事故防止に尽力した成果に対し、自主申告制度により表彰するものです。無事故・無違反が証明された場合に表彰が受けられます。

- ▶受付期間 9月1日(月)～30日(火)午前8時30分～正午および午後1時～5時(土・日曜日、祝日を除く)
- ▶表彰基準 ①運転経験5年以上を有し、常に安全運転を心掛け、他の運転者の模範と認められる方  
②過去5年間、10年間、15年間、20年間、25年間、30年間、35年間、40年間、45年間50年間、55年間に分けて無事故、無違反の運転者
- ▶資格要件 ①同協会に入会している方  
②令和2年10月以降に優良運転者として同警察署、同協会の表彰を受けていない方
- ▶申請方法 同協会(行田警察署内)にある申請用紙および無事故・無違反証明交付申請書に必要事項を記入の上、運転免許証、同協会会員証、無事故・無違反証明書交付手数料670円を持参してください。
- ▶表彰 受賞者には後日表彰式の期日を通知します。※表彰式は11月中旬を予定
- ▶申請・問い合わせ 同協会(行田警察署内) ☎555-1112

## ご活用ください 市民活動やる気応援助成金制度

地域のために活動するNPOやボランティアなどに助成金を交付します。また、これから活動を始める、あるいは活動を始めたばかりのNPO法人などの基盤整備にも交付します。

- ▶募集要項および提案書の配布場所 市民活動サポートセンター(コミュニティセンターみずしる1階)  
※市ホームページからダウンロード可
- ▶申請方法 事業提案をし、採択後に助成金の申請をしてください。
- ▶提案受付期間  
【第1期】9月6日(土)まで  
【第2期】12月6日(土)まで  
※期間中でも予算に達した場合は受付終了となります。
- ▶提案提出方法 提案書に必要事項を記入し、添付書類を添えて持参、郵送、Eメールのいずれかの方法により提出してください。  
【持参・郵送】〒361-0052 行田市本丸5-10 行田市市民活動サポートセンター  
【Eメール】gyodashi-saposen@bz04.plala.or.jp
- ▶採択事業の決定 行田市市民公益活動推進委員会による審査結果を踏まえ、可否を決定します。また、審査結果は、全ての団体に通知します。
- ▶問い合わせ 市民活動サポートセンター ☎598-8616

## 行田市優秀建設工事技術者表彰式を行いました



上段左から柏木さん、宇田川さん、野中さん、河合さん、今村さん、下段左から加村知久さん、加村芳子さん、行田市長、荒木さん、福島さん

6月23日、令和7年度行田市優秀建設工事技術者表彰式を行いました。

これは、市発注工事を優秀な成績で完成させた技術者を表彰するもので、市発注工事に対する意欲の高揚や品質確保などの向上を図ることを目的としており、今年度は9人の方が表彰されました。

サイカン工業株式会社の荒木裕弥さんは水城公園東側園地再整備工事(第4工区)施設整備、株式会社漆原産業の福島教之さんはゼロ債務)舗装復旧工事(その1)、有限会社加村工業の加村芳子さんと加村知久さんはゼロ債務)配水管布設替工事(その1)、永光建設株式会社の今村和世さんと河合和浩さんは古代蓮の里C棟トイレ更新工事、大野建設株式会社の野中公二さんは持田保育園4歳児室および遊戯室床改修工事、有限会社伊藤建設の宇田川大介さんは道路改良工事(小針字本郷、宮前)、大澤建設株式会社の柏木祐太さんは幹線道路整備事業(須加地区)道路改良工事のそれぞれ担当技術者として、工事現場の安全管理や品質管理に向けた取り組みなどが高く評価されました。

行田市長から激励の言葉を受けた受賞者の皆さんは「このような賞を頂けたことに感謝している。今後も行田市のために尽力していきたい。」とそれぞれ抱負を語っていました。

- ▶問い合わせ 契約検査課検査担当(内線224)

## 新しく整備した公園の名称が「わくだま公園」に決定しました

若小玉地内において、行田富士見工業団地拡張地区産業団地整備事業により整備した公園の名前を「わくだま公園」に決定しました。たくさんのご応募ありがとうございました。

- ▶応募件数 43件(市内31人、市外2人)※複数回答あり
- ▶決定理由 地元にゆかりのある名称であり、応募件数が最も多かったため
- ▶公園開設日 8月1日(金)
- ▶問い合わせ 都市計画課公園担当 ☎550-1550

## 「AIの活用による英語教育強化事業」の授業研究会を実施しました



授業研究会の様子

6月30日、西小学校でAI活用による英語教育授業研究会が行われ、市内の小学校の教員や中学校の英語教員、英語指導助手(ALT)などが参加しました。

この取り組みは、文部科学省が進める「AIの活用による英語教育強化事業」のひとつで、県内では本市が唯一採択を受け実施している事業です。従来の教員と英語指導助手による授業に、一人一人の学力に応じたAIを活用した発話などの学習を取り入れることで、児童生徒の学力の向上を図るものです。

授業では児童がタブレットを活用してAIとの対話を行いながら、「聞く」「話す」の練習を各自のペースで行い、意欲的に英語学習に取り組んでいました。

- ▶問い合わせ 教育指導課 ☎556-8316

## 東京電力パワーグリッド株式会社熊谷支社と災害時応援協定を締結しました



コミュニティタンクから水の供給を受けている様子

6月30日、東京電力パワーグリッド株式会社熊谷支社と「災害等発生時における消防用水等の確保に関する協定」を締結しました。

この協定は、火災、災害時において同社行田事務所コミュニティタンクを消防用水や生活用水に活用させていただくものです。これにより、被災時における市民生活の早期安定や速やかな復旧が図られます。

- ▶問い合わせ 危機管理課(内線281)